

# 東京海上日動火災

## 外勤社員切捨て問題 裁判の場で明らかとなる異様な真実

「保険金不払い問題」に揺れる東京海上日動火災。その内側で外勤社員の切り捨てを進めています。どちらも収益第一主義がもたらした異常事態。東京地裁での会社側証人尋問(11/20)で、儲けのためには何でもありという異様な真実が明らかになりました。

**約束守るのが保険会社のはず  
募集広告では嘘を言っても構わない**

外勤社員は、新聞や就職情報誌の募集広告にも、生涯、保険募集に従事し、地域外への転勤はない社員であると明記されています。しかし、会社側証人は、それは募集時のことで、就職後は違うと珍論を展開。募集広告に嘘を書いてもよいというなら、信頼は台無しです。

**収益、規模とも業界NO1の会社がもつと儲けたい  
だから外勤社員は一人もいらさない**

外勤社員切捨てとは正社員である外勤社員を代理店として会社から放逐すること。会社は総資産約十一兆円、売上約一兆九千億円、経常利益一六〇億超のダントツの業界NO1。会社側証人は、その事実を認めたと、「制度があることが不採算」と、儲けのために一人も残さず切捨てるという「執念」を隠しませんでした。

**このままでは「解雇」に  
取り返しつかない外勤社員**

会社は、来年四月には代理店従業員への出向などの人事異動を発令、七月には制度廃止をするとし、会社側証人は、従わなければ解雇を検討すると明言しました。外勤社員にとって解雇とは、長年築いたお客様という財産を他に奪われるということ。あとから復職してもとりかえしがつきません。それを知って、会社は脅しをかけているのです。

多大なご迷惑をおかけしている「保険金不払い問題」。損保労働者として心からお詫びし信頼回復の努力を進める決意です。

全損保・全損保日動外勤支部

# たたかいに大きな反響

# 東京海上日動火災

## 外勤社員制度廃止はやめよ

数多くの暖かい声援をいただき、本当にありがとうございます。私たちの願いは、これまでどおり外勤社員として働きたいということだけです。外勤社員制度廃止は「解雇」と同じこと。どうしても受け入れられません。ご声援の一部を紹介します。

みなさんの外勤社員としての誇りや自信を強く感じました。こうしたやる気のある社員を代理店に押し込んだり、解雇を検討するなど社会的責任のある大企業のやることではありません。(中略)街頭での皆さんの目を見ていたら、外勤社員としての誇りを強く感じ感銘したからかもしれません。なぜこんなに輝いている社員を切り捨てなければならないのかという許せない気持ちでいっぱいです。(街頭宣伝をした翌日に FAX で)

あの東京海上日動が本当にこんなことをしているのですか。私は保険契約者ですが、何をすればいいのですか。(街頭宣伝で話しかけていただく)

今日、自宅にビラが入っていました。私も東京海上日動で保険に入っていますが、本当にひどいことをするんですね。代理店さんとの長い付き合いがあり、保険会社をかえるわけには行きませんが、とにかく、「がんばって」と伝えてほしいと思い電話をしました。(団地でビラを配布した日に電話で)

経営者には、物事がわからずに悪いことをやる者と、知っていてやる確信犯の二種類がいる。東京海上日動は確信犯。労働者を取りまく状況も悪くなっており、大変なたたかいだが、社会正義のためにも、ぜひ、がんばってほしい。(街頭宣伝をした夜に電話で)

## 裁判は1月に結審 解決は待ったなし

外勤社員制度廃止をやめさせ、外勤社員としての雇用継続を確認する裁判もいよいよ大詰め。来年1月には結審を迎えます。「保険金不払い問題」などで社会的信頼回復が急務の東京海上日動火災。それにはお客様からの信頼回復とともに、労働者の「解雇」をやめることが必要ではないでしょうか。どうか、私たちのたたかいに ご支援をよろしくお願いします。



全日本損害保険労働組合

全損保日動外勤支部

中央区新富 1-6-1 京橋第 5 長岡ビル 4 階 03-3551-7131

ホームページ 全損保 <http://www.niu.or.jp/index.html> 全損保日動外勤支部 <http://www.geocities.jp/nichidogaikin/>